

名古屋市芸術創造センター プレミアムセレクト

特別公演 「文楽を聴く」

素浄瑠璃

摂州合邦辻

合邦住家の段

浄瑠璃 竹本 千歳太夫

三味線 鶴澤 藤蔵



平成 27 年 8 月 11 日「文楽を聴く」公演より

名古屋市芸術創造センター

令和元年 6月27日(木)

18:30 開演 (18:00 開場)

お話 虫鹿竹雄 18:30~18:50

演奏 摂州合邦辻 合邦住家の段 19:00~20:20

*演奏開始 (19:00) 後は入場扉の一部を閉鎖します。

一般 4,500 円

学生 2,000 円

*名古屋市文化振興事業団 友の会会員 (前売りのみ)・障がい者は 4,000 円

<全自由席>

名古屋市芸術創造センター TEL 052-931-1811
(休館日(原則月曜日)を除く 9:00~20:00)
名古屋市文化振興事業団チケットガイド
TEL 052-249-9387 (平日 9:00~17:00/チケット郵送可)
名古屋市文化振興事業団が管理運営する文化施設窓口でもお求めいただけます。
チケットぴあ TEL 0570-02-9999 【Pコード: 493-688】

主催・問合せ 名古屋市文化振興事業団[芸術創造センター] TEL 052-931-1811

文楽よもやま噺 TEL 090-6585-1627 (堺 17:00~22:00)

特別公演「文楽を聴く」 素浄瑠璃 摂州合邦辻 合邦住家の段

「文楽」は太夫と三味線が演奏する義太夫節に人形が加わった三業で構成されますが、素浄瑠璃は太夫と三味線の技巧だけで深淵なドラマを展開します。
名曲 摂州合邦辻「合邦住家の段」を迫力の語りと三味線でお楽しみください。



摂州合邦辻 合邦住家の段

浄瑠璃 竹本 千歳太夫

三味線 鶴澤 藤蔵

河内の国の城主、高安通俊には二人の子があった。年長だが妾腹の次郎丸と、弟の俊徳丸がおり、正室の子である俊徳丸が跡取りと定められていた。正室の死後、通俊の後妻となっていた玉手御前は、継子である俊徳丸に恋心を打ち明け、毒酒を飲ませる。俊徳丸は毒により業病にとりつかれ盲目となってしまう家を出、許婚の浅香姫とともに、元は鎌倉武士である僧、合邦の家にかくまわれる。この合邦夫妻は玉手御前の両親であった。両親は、娘は不義をはたらいて殺されたものと思っていたが、訪ねて来た娘を不憫に思い、家に入れる。俊徳丸への恋をあきらめない娘を合邦は怒って刺す。玉手御前は、毒酒も邪恋も次郎丸の手から俊徳丸を守る計略であるとあかし、自分の生き血によって俊徳丸の難病を治し、満足して死ぬ。

「摂州合邦辻」は上下二段物で、能「弱法師（よろぼうし）」、説教節「しんとく丸」に描かれた盲目の貴公子俊徳丸の物語と、継母の恋を描いた説教節「愛護若（あいごのわか）」をもとにしている。「合邦住家の段」が下の巻にあたり、義太夫の有数の名作と言われている。

名古屋市芸術創造センター

名古屋市東区葵一丁目3番27号 TEL 052-931-1811

- ・地下鉄東山線「新栄町」下車 1番出口より北へ徒歩3分
- ・地下鉄桜通線「高岳」下車 3番出口より東へ徒歩5分
- ・駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください

